

# 平成 29 年度北陸農政局農山漁村男女共同参画フォーラム概要

## 1 趣 旨

本フォーラムは、農山漁村における男女共同参画の実現を目指して経営・社会参画の優良な取組を行っている個人や団体を表彰し、その活動事例を広く紹介することにより、北陸地域における男女共同参画の一層の機運の醸成と、女性による農山漁村の活性化の取組を促進することを目的に開催するものです。

2 開催日時 平成 29 年 12 月 1 日（金） 13：30～16：00

3 開催場所 北陸農政局 1 階 共用大会議室（金沢広坂合同庁舎）

4 主 催 農林水産省北陸農政局

5 参加者数 44 名

## 6 内 容

13：30 開会

平成 29 年度北陸農政局男女共同参画優良事例表彰式

■表彰式では、北陸農政局次長から 4 名、1 団体へ北陸農政局長賞が授与されました。

- (1)開会の辞
- (2)受賞事例の紹介
- (3)北陸農政局長賞授与
- (4)北陸農政局長挨拶
- (5)閉式の辞



【写真】表彰状授与の様子(中島氏)



【写真】北陸農政局長挨拶

〈北陸農政局長賞受賞者〉

部門	受賞者名	所在地
経営参画・個人	中島 由起子（なかじま ゆきこ）氏	富山県下新川郡入善町
経営参画・個人	室谷 加代子（むろたに かよこ）氏	石川県羽咋郡志賀町
経営参画・団体	企業組合そまの恋姫サラダ会	福井県南条郡南越前町
社会参画・個人	大坂 昌子（だいさか まさこ）氏	新潟県新潟市
社会参画・個人	小川 喜久子（おがわ きくこ）氏	福井県福井市

13：45 休憩（受賞者記念撮影）

14：00 優良事例紹介

(1)コーディネータ紹介・挨拶

◎コーディネータ：国際基幹教育院特任教授・金沢大学名誉教授 <sup>やえざわ</sup>八重澤 <sup>みちこ</sup>美知子 氏

(2)活動事例発表

◎発表者：受賞者

◎内容… i) 事例発表

ii) 意見交換会

(3)質疑応答

16：00 閉会



【写真】コーディネータの八重澤氏

■活動事例発表では、活動内容をまとめたスライドショーを使って、受賞者の方々から事例発表を行っていただきました。



【写真】活動事例発表の様子(室谷氏)



【写真】活動事例発表の様子(大坂氏)



【写真】活動事例発表の様子(小川氏)

■パネルディスカッションでは、八重澤氏をコーディネータに迎え、受賞者の方々と色々な意見が交わされました。

受賞者からは、家族や周囲と連携するにあたり、「無理はしないこと」「これからは、女性ももっと前に出て発言し、情報発信していく必要がある」などの意見が上がりました。

また、後継者育成について、「自らが手本となって後の世代に行動や姿勢を見せていきたい」という発言や、地域でのグループ作りの秘訣として、「周囲を巻き込むことが大事」という意見もあり、フォーラムをとおして様々なメッセージを発信されました。



【写真】意見交換会の様子



【写真】意見交換会の様子(中島氏)



【写真】意見交換会の様子  
(企業組合そまの恋姫サラダ会 代表 川崎氏)



【後方(左から)】半田経営・事業支援部長、柏原北陸農政局次長、八重澤美知子氏、春日北陸農政局次長、荒井経営支援課長

【前方(左から)】大坂昌子氏、中島由起子氏、室谷加代子氏、印藤北陸農政局長、企業組合そまの恋姫サラダ会 代表川崎美智子氏、小川喜久子氏

# 受賞者の活動事例紹介

## 経営参画部門（個人）

なかしま ゆきこ  
**中島 由起子** 氏（富山県下新川郡入善町）

初めは夫を手助けする感覚で農業に従事していたが、会社を退職し、平成5年に就農。元々、花と米の専業農家だったが、平成10年頃から町内消費者等の新鮮な野菜へのニーズの高まりにより、野菜の本格的な生産を開始。家族内で役割分担を明確にし、地元直売所等へ販売する作物の包装、運搬、陳列、売り上げ管理等を担当するなど、経営に参画している。

農産加工にも取り組んでおり、生産いただいたこんを原料とした「姑のたくあん」、「嫁のはりはり」等の漬け物を自宅で製造。また、実家近くの山々で採れる山菜の瓶付けを地元直売所の加工室で製造するなど、積極的に新規部門を取り入れている。

さらに、女性農業者組織「入善町女性農業士GOGO農会」の会長や入善町農業委員を務め、行政や関係機関への提案や要望の窓口を担うなど地域の女性農業者のリーダーとして活躍している。

むろたに かよこ  
**室谷 加代子** 氏（石川県羽咋郡志賀町）

昭和52年に家族の健康管理に役立てるため調理師免許を取得し、度々依頼を受けて料理教室を開催。富来町男女共同参画推進委員会が発足した際は、男女共同参画の啓発活動で、男性を対象とした地元食材を使った料理教室を開催した。

平成14年、石川県知事と意見交換をする機会があり、料理教室をグリーン・ツーリズムに取り入れてはどうかとのアドバイスを受け、平成17年、夫の協力も得て、当時あまり例が無かった農家レストランを開業した。

レストランは完全予約制で、献立は郷土料理をテーマとしており、近隣農家や地元農産物直売所などから食材を調達している。開業当時の来客数は710人であったが、平成28年は1,150人と順調に増加しており、石川県の農家レストランのモデルとなっている。

また、食育や地産地消を推進する教育現場や行政とのネットワークが構築され、様々な委員会等で活躍している。

## 経営参画部門（団体）

きぎょうくみあい こいひめ  
**企業組合そまの恋姫サラダ会**（福井県南条郡南越前町）

平成14年に農業に携わる女性6名で加工グループ「サラダ会」を結成し、平成16年、南条農産物直売所「四季菜」のオープンと同時に、併設の加工施設内で弁当や惣菜等、30種類以上の商品の製造販売を開始。平成23年には、事業拡大や労働力確保に向けて法人化し、「企業組合そまの恋姫サラダ会」と改名。「安定した雇用」を目標に、組織体制や社会保険等の労働環境を整備し、現在は女性12名で菓子・漬物・味噌の加工・販売にも取り組んでいる。

地場産100%の商品作りを目指しており、商品の大半に地元農産物を活用している。地元食材を積極的に活用することで、商品力が増すとともに、地元生産者の販路拡大や生産意欲の向上につながっている。

法人として経営を軌道に乗せるために、毎月1回の例会を開催し、組合員相互に経営改善・向上を図っている。また、近隣の女性起業グループの視察も受け入れており、同会の取り組みは他のグループの経営力向上に波及している。

## 社会参画部門（個人）

<sup>だい</sup> <sup>さか</sup> <sup>まさ</sup> <sup>こ</sup>  
大坂 昌子 氏（新潟県新潟市）

平成8年に新潟県農村地域生活アドバイザーに認定され、アドバイザーの県連絡会並びに地区連絡会に積極的に参加し、プロジェクト活動や研修会などを通じて、消費者交流やインショップでの農産物販売、農家レストランの取組など、都市近郊農業の特徴である「消費者に近い」という特性を活かした活動を実践している。

平成29年度からは地区連絡会の副会長として役員のまとめ役となり、食農教育や郷土料理の伝承活動を行っている。

また、平成24年からは、県・全農にいがたによる新潟米PR「ライスガールズ」のメンバーとして、新潟米のおいしさを「農家のお母さん」として伝える活動を行うなど、幅広い分野で活躍している。

これらの様々な活動の経験から、県や市などの審議会の委員として登用され、現在は、JA新潟市の理事としても活躍しており、女性農業者や農業経営者の意見・要望を踏まえた提言を行っている。

<sup>お</sup> <sup>がわ</sup> <sup>き</sup> <sup>く</sup> <sup>こ</sup>  
小川 喜久子 氏（福井県福井市）

地元での営農に対する熱心で誠実な人柄が評価され、平成11年にJA福井市女性部六条支部長となり、食育活動などを推進するほか、余剰野菜の活用のため、女性起業グループ「葉っぱや」を平成16年に立ち上げ、代表として、野菜の直売や農産加工といった地産地消に取り組んだ。

平成24年には、六条支部長としての活動が評価され、JA福井市女性部長に就任。女性部では、「生姜で福井を元気に！」をキャッチフレーズに、しょうがの生産振興とブランド化に取り組み、数々のイベントを企画。さらに、福井市内25地区の女性部をまとめ、JA福井市「ジンジャーガールズ」を設立。特産しょうがのPR、生産・消費拡大のための活動を精力的に展開している。

また、平成27年2月、小川氏のリーダーシップが期待され、地元の集落営農法人である(農)ファーム六条の唯一の女性理事に就任し、組織運営の方針決定等の中心的役割を担っている。